

中国業務通訳

遥かなスコットランド

司馬遼太郎「春灯雑記」（朝日文庫）に「灰かなスコットランド」という講演が収められている。講演の時期、場所は記載がない。スコットランドの歴史からスコットランド人の気質にまで語られている素晴らしい講演だ。

私は今回の記事の題名を「遥かなスコットランド」とする。私はスコットランドを一度訪れたことがある。1990 年代の初め、北京駐在時代に子供たちの夏休みを利用して家族 4 人でエジンバラを訪れた。その後、出張や旅行でイングランドは何度も訪れたが、スコットランドは 2 度と訪れることはなかった。

私が最も好きなスコットランド民謡は「Annie Laurie（アニー・ローリー）」だ。下記は由紀さおり・安田祥子の歌う「アニー・ローリー」。何人もが「アニー・ローリー」の日本語歌詞をつけているが、堀内敬三の訳詞。

https://www.youtube.com/watch?v=XgkgtDPJUKc&list=RDxgkgtDPJUKc&start_radio=1

アニー・ローリー（1682～1761?）はスコットランドの貴族・サー・ロバート・ローリーの末娘の名前だ。アニーは長じてウィリアム・ダグラス（William Douglas）と恋に落ち、結婚の約束をしたが、父の反対で結婚は叶わなかった。アニーが 15 歳、ダグラスが 25 歳の時だったと伝わる。ウィリアム・ダグラス家とローリー家とは政治的立場が異なっていたので、両家の仲は悪かった。当時のスコットランドで政治的立場が異なる氏族の間の諍い、揉め事はよくあることだった。アニーは父の命令に従い、別の男性と結婚した。ウィリアム・ダグラスもその後、別の女性と結婚した。

ウィリアム・ダグラスはアニーとの結婚に敗れ、悲しみに暮れ、アニーを思い続けて詩を書いた。この詩が書かれてから 100 年後の 1838 年に、ジョン・ダグラス・スコット夫人（Lady John Douglas Alicia Scott）がこの詩に曲をつけた。こうして名曲「アニー・ローリー」が生まれた。

クリミア戦争（1853～1856）で夫を亡くした未亡人、父親を亡くした孤児への慈善活動の場でこの歌が歌われた広く知られるようになった。またクリミア半島の戦地に送られたスコットランド兵もこの歌を歌い故郷をしのんだ。

アニー・ローリーの生家は 1972 年に復元再建され記念館 Maxwellton house となっている。

スコット夫人の作曲から 50 年後にこの歌は日本に紹介された。1884 年（明治 17 年）に編纂された文部省音楽取調掛編集「小学唱歌集」第 3 編 56 番「才女」という歌だ。

歌詞 1 番

2 番

書き流せる 筆のあやに
染めしむらさき 世々あせず
ゆかりの色 ことばの花
たぐいもあらじ そのいさお

巻きあげたる 小簾のひまに
君の心も しら雪や
蘆山の峯 遺愛の鐘
目に見るごとき その風情



生家・Maxwelton house
に飾られているアニー・
ローリーの肖像画。

明治政府はこのスコット夫人の曲の歌詞 1 番を紫式部に置き換え、2 番を清少納言に置き換え、曲名を「才女」とした。歌詞 1 番の「むらさき」は紫式部を連想させる。2 番は清少納言の枕草子第 280 段に定子中宮が「少納言よ、香炉峰の雪いかならむ」と問う有名な件がある。蘆山の香炉峰が有名。中唐の詩人・白居易の七言律詩『香炉峰下新卜山居』に「遺愛寺鐘欹枕聴 香炉峰雪撥簾看」（遺愛寺の鐘は枕に欹そばだてて聴き、香炉峰の雪は簾を撥かかけて看る）を踏まえたエピソード。

いまの日本で広く歌われている堀内敬三の訳詞を載せる。格調高く、素晴らしい歌詞になっていると思う。上掲 youbube の歌詞だ。

歌詞 1 番

朝（あした）露置く 野の静寂（しじま）に
いとシアニーローリー 君と語りぬ
永久（とこしえ）まで 心変えじ
誓いシアニーローリー 我がいのちよ

2 番

愛に輝く 君がまなざし
誠（まこと）こめたる 君がささやき
永久まで 永久まで
忘れじアニーローリー 我がいのちよ

イギリスという国は存在しない。イギリスの正式名称は United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland、略称 United Kingdom、UK（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）という。グレートブリテン島の England, Wales, Scotland の 3 つの Countries（国）とアイルランド島の一部を占める Northern Ireland（国）から成る。

ウェールズは 1536 年の合同法でイングランドと統合し「イングランド王国」を形成した。イングランドとウェールズとは昔も今も平和な関係が続く。

スコットランドは 1707 年にイングランド王国と合同して、グレートブリテン王国の構成国となった。スコットランド王ジェームズ 5 世の娘、ヘンリー 8 世の姉の孫・メアリー・スチュアート（1542～1587）は王位継承者の長男、次男が早世したため、生後わずか 6 日で 1542 年にスコットランド女王（メアリー 1 世）につく。ヘンリー 8 世の娘・エリザベス（1533～1603）が 1558 年に 25 歳でイングランド女王（エリザベス 1 世）につく。英国国教会のイングランドとカトリック教のスコットランドの宗教争い、その他の両国の政治抗争に巻き込まれメアリー 1 世は 19 年間の監禁生活を送り、助けを求めたエリザベス 1 世から 1587 年にギロチンで処刑された。44 年の生涯だった。スコットランド人のイングランド人嫌いはその後も長く続く。2014 年 9 月にスコットランド独立を問う住民投票が実施されたが賛成 44.7%、反対 55.3%で否決された。

ノーザン・アイルランドは 1920 年のアイルランド統治法によって国土が分割され、1921 年に北東部の 6 つの郡の分権政府として誕生した。アイルランド島の面積の 5/6 を占める大部分はアイルランド共和国となり、面積の 1/6 を占める北アイルランドは連合王国に残った。1960 年代後半から 1998 年のベルファスト合意まで北アイルランドにおけるプロテスタント系（ユニオニスト）とカトリック系（ナショナルリスト）の政治的・宗教的対立が続き、北アイルランド紛争という。イギリスへの帰属を望むユニオニストとアイルランドとの統一を目指すナショナルリストの対立は武力衝突や暴力テロにまで発展し、双方の死者は 3,500 人以上にのぼった。

多くの日本人はスコットランドに親しみを感じると思う。それは明治以来、文部省唱歌に数多くのスコットランド民謡が取り入れられているからだと思う。スコットランド民謡で最も有名な曲は「蛍の光」だろう。蛍の光の原曲名は Auld Lang Syne（オールド・ラング・ザイン）。私たち昭和世代の人間は誰もが小・中・高いいずれかの卒業式では「蛍の光」に送られ卒業していったと思う。いまの卒業式で蛍の光が歌われることはない。

いまではパチンコ店が閉店時間になると蛍の光が流される。客はこの曲を聞きながら失った金との別れを惜しむのだろう。（横井幸夫 元東レ株式会社）

